

**月例会ダイジェスト【111】**

6月の月例会は「発達特性とマネジメント支援～多様な社員が活躍できる職場づくり～」と題し、オンラインで開催。コーディネーターは小島健一氏（鳥飼総合法律事務所）、佐藤文彦氏（Basical Health(株)）、帰山晶子氏（日野自動車(株)）、安倉沙織氏（ライフコンサルティングスタジオ）の4名が担当した。

最初に、佐藤恵美氏（メンタルサポート&コンサル沖縄代表）が『『なんでできないの?』の奥にあるもの～発達特性・心理・環境から読み解く発達特性のある人の職場の困難～』というテーマで、発達特性の捉え方の視点、社会的困難に最も影響がある特性、さらに職場の対応のあり方について講演を行った。

まず、発達特性の捉え方の視点モデル（冰山モデル）を示し、「困った状況やトラブル＝水面上の冰山」「取り巻く環境＝海水」「発達特性＝水面下の冰山」に例え、「水面上の冰山」、つまり社会的困難の事象だけを見ても対応策は生まれず、発達特性の特徴を理解することが合理的配慮に必要だとした。さらに佐藤氏が考案した「発達特性」を理解するエッグモデル（内→外：脳の仕組み→8つの発達特性→社会的困難の様々な事象）が紹介された。

8つの発達特性のうち、職域で最も影響がある発達特性は「潜在的な了解の困難（イメージーション障害）」であり、推測・推論・見通し・全体俯瞰が困難で、「見えないものがわかりにくい（状況や雰囲気、感情、抽象、概念など）」「報・連・相ができない」「ルールにこだわる」「細部選好」「下調べに多大な時間がかかる」などの職場トラブルにつながると話した。また、職場での困難は職場環境も大きな要因であり、過去の失敗体験から起こる不安緊張の影響も大きい。そのため職場の「心理的安全性」を高めることも重要と訴えた。

次に、臨床心理士・社会福祉士の千田若菜氏（ながやまメンタルクリニック）が、「発達特性とマネジメント支援」と題し、自身が行っている就労支援（コンサルテーション支援とジョブコーチ支援）について紹介した。

コンサルテーション支援は、企業のメンタルヘルスケアのしくみ作りを柱とし、その内容はメンタルヘルス不調者面談実施、障害者雇用についての助言、研修・教育、関係機関との連絡調整など職場環境全体に関わるもので、自身は必ず企業の中の担当者を決めてもらい、支援する主体はあくまで企業としてもらっていると語った。また通常、心理職との面談内容は第三者共有しないことが原則だが、本支援では職

場環境改善や工夫のため、本人の了解を得たうえで、職場での情報共有を行っていることが特異な点であると述べた。

ジョブコーチ支援<sup>1)</sup>は、ジョブコーチが実際に職場に入って障害がある人とその職場の人双方に関わり、「合理的配慮」の提供支援を行うものである。具体的にはコミュニケーションの橋渡しをはじめ、特性のある人への職場マナーや振る舞い、業務の質・要領の確認支援、職場の人に対する発達特性の知識や関わり方、指示の出し方などの職務遂行支援、また昼食や休憩時の社会的行動援助、対人関係の調整も含まれると述べた。自身も経験上、職場の中に入ること、そして職場環境側へのアプローチが、当事者、職場の上司・同僚の働きやすさや心理的安全性をもたらすことにつながると語った。

続いて帰山氏より自社の支援事例が紹介された。心理職によるカウンセリングのほか、メンタルヘルス支援強化のため職場相談員を配置していること、また相談員の多くが社内業務に精通したベテラン社員で、特性をもつ従業員から相談を受けるだけでなく職場環境の調整・産業保健専門職との連携も担っていると述べた。

また、発達特性の従業員が、自身の特徴・得意・苦手なことや配慮の希望を記入する「ナビゲーションブック」作成の取組みも紹介された。作成に半年から一年半かかるなどの課題はあるものの、自己・他者の理解が進み、得意分野の能力向上に寄与していると述べた。

ディスカッションでは「自責思考の方は支援が奏功しやすいが、他責思考の方への対応が難しい」「当事者だけでなく上司や同僚も発達障害グレーゾーンの場合の対応」といった相談が寄せられた。演者の佐藤氏より他責思考の方は怒りが自己防衛手段になっている可能性があること、あるいは外見上、怒りに見えてもじつは相手の不理解に対する混乱が生じているだけであり、それを産業保健職や周囲が理解していると合意形成しやすいとした。またグレーゾーン対応には、遠回りかもしれないが、やはり社内研修などで特性に知ってもらうことが重要だが、その際あえて「発達障害」という言葉は用いず、認知機能クイズなどを交えた内容にすると当事者意識の醸成につながると述べた。その他、ジョブコーチ導入の相談先（第一選択は地域障害者職業センター）などの質問が相次ぎ、発達特性に対する関心度の高さを実感する会となった。

<文献>

1) 厚生労働省。職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業について

さんぽ会の詳細は下記サイトをご覧ください。

- ホームページ <https://sanpokai.net>
- FBページ <http://www.facebook.com/sanpokai>